

# MOWLASをはじめとする地震観測の現状と展望

青井真（防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター）

## 現状

- ・日本における各機関の地震観測網を概観するとともに、防災科研が構築・運用する陸海統合地震津波火山観測網 MOWLAS の現状やこれまでに蓄積されたデータについて紹介。
- ・首都圏地震観測網 MeSO-net や民間が取得しているデータ、小型地震計やスマホ地震計のデータを統合し、データ利活用協議会などとも連携し利活用を進めている。

## 今後の展望

- ・安定した観測の継続：安定した高精度で高稼働率の観測の継続を担う人材と予算、修理、定期的なシステム更新、観測施設のメンテナンス。
- ・新たな観測網の構築：N-net の構築&増設機器を含む新たな観測システムの開発。基盤観測網の完成：島嶼部や密度の薄い地域。断層極近傍での観測や都市域の超稠密観測。
- ・新たな観測技術・システムの開発、技術の継承：陸海の新たな観測、より稠密な観測、安価な観測、データ伝送方式。
- ・ユーザーニーズ：データの統合。ユーザーごとの様々なニーズ。学術・研究と防災・社会実装のバランス。

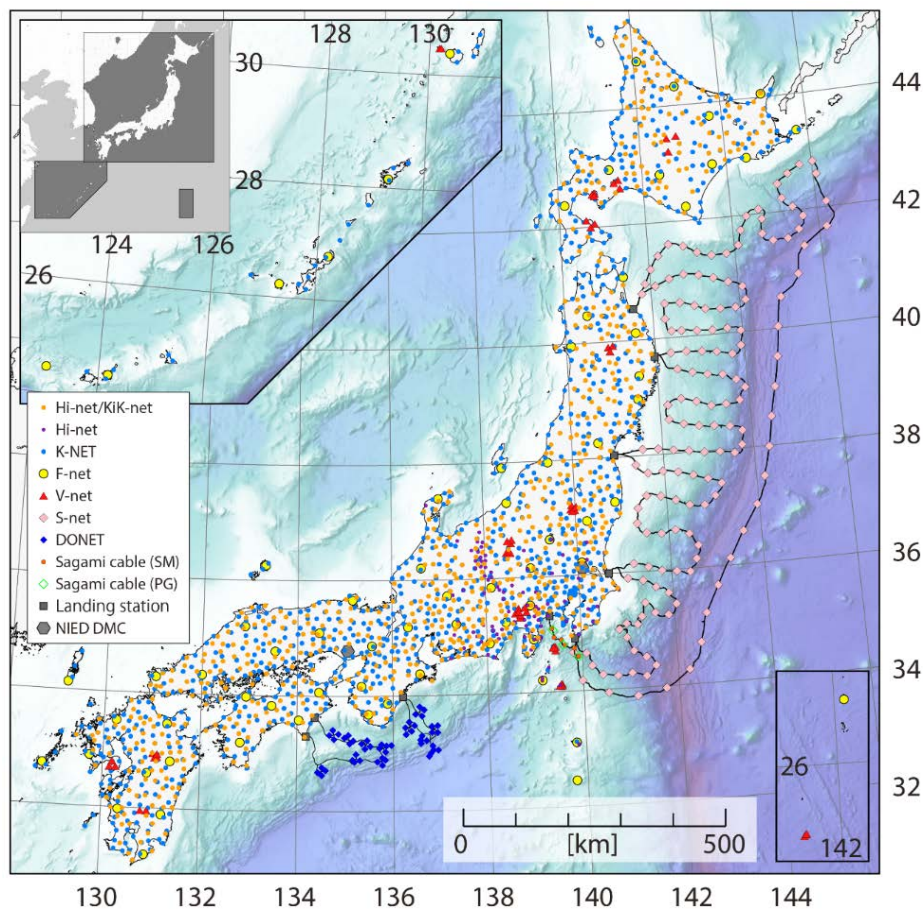


図 1：2100 観測点あまりからなる陸海統合地震津波火山観測網 MOWLAS の観測点分布